

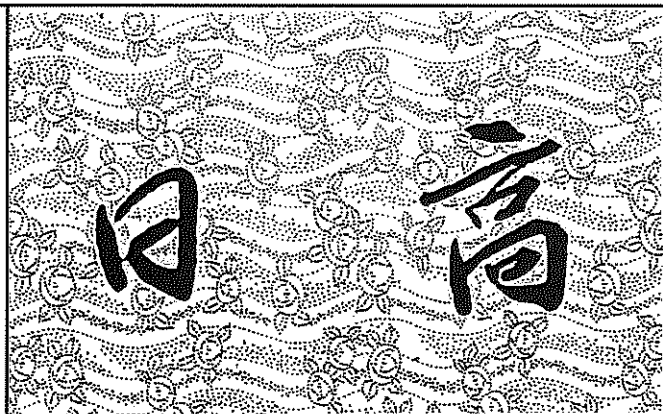
日高地区概況

令和4年5月1日現在
 世帯数 9,529
 人口 21,877
 男女 10,636
 女 11,241

※この概要は日高支所管内の統計による

第206号

発行日 令和4年5月20日
 発行 日高学区市民自治会
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/>
 代表者 志賀 勝弘
 編集責任者 木田 源一
 印刷 おぎつ印刷



令和4年度定期総会 3年ぶりに対面で開催

役員約200人が一堂に会し 事業計画・予算案を審議



久しぶりに大人数の前で挨拶する志賀会長

日高学区市民自治会の令和4年度定期総会が、4月16日に日高体育館を会場に開催されました。

200人近い本部、支部の役員が一堂に会し、対面で実施されるのは3年ぶりのことで、手指消毒、マスク、3密回避などの対策を慎重に行ったうえで開催となりました。

昨年の総会は、直前になってコロナの急拡大により急遽中止になったという経緯があり、緊張感の中、開催にこぎつけました。

総会は、志賀勝弘市民自治会会長の「市報全戸配布を契機に、地域全体の皆さんと協力し、工夫しながら前向きに事業を進めていきたい」との挨拶で始まり、例年は多くの来賓を迎え、数人の代表から挨拶を受けていましたが、今年は、来賓は迎えずに、日立

日高交流センターの運営について紹介します

日高交流センターは、市の指定を受けた運営委員会が管理運営しています。運営委員会は日高学区市民自治会を始め、各種団体や利

(日高学区市民自治会事務局長) ◎志賀信夫(日高学区市民自治会副会長) ◎小澤邦子(日高文化協会会長) ◎綿引平(日高学区高齢者

用団体などから委員が選ばれ組織されています。日高交流センターでは次の方々

クラブ連合会会長) ◎木田金房(日高地区民児協副会長) ◎松崎幸子(日高婦人会会長) ◎根本誉(日高支所支所長) ◎川野邊和(日高中学校校長) ◎於曾能弘

日高交流センターでは、事務局長、次長のほか、6人の一般事務員と5人の管理人、清掃員1人を雇用し、日高学区市民自治会や福祉委員会の活動拠点としての事務局の仕事を中心に、各種団体の事務局事務、交流センターの利用管理、施設管理などを行っています。

市長のメッセージ紹介だけを行いました。

小泉安宏小津浜支部長を議長に選任し、議事に入りました。令和3年度の事業報告では、コロナ禍の主な事業が中止となり、決算でも多くの事業費が無執行になったとの報告がありました。4年度の事業計画では、ほぼ3年度に計画した事業計画を踏襲し、加えて秋にスポレク祭代替事業の計画、「日高マップ」の更新などが提案され、予算では3年度の繰り越しを使用するため4年度も会費の徴収はしないことなどが提案、それぞれ了承されました。

総会終了後、9支部に分かれ新しい支部役員が集まり懇談会が開かれました。

コロナ禍の終息まで 感染防止対策を

今年3月末に、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が終了されましたが、感染防止拡大を避けるために、3密(密閉、密集、密接)を避けることが大切です。

日高交流センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために、マスク・検温・消毒・密を避ける・換気を行なうことをお願いしています。交流センターの各室、体育館等を利用する際には、それらを守って利用して下さい。今年日高交流センター

広場に、花見ぼんぼりを設置しました。来場者は密にならないようにしながら、昼間は咲き誇った見事な桜、夜はぼんぼりに照らされた夜桜を楽しむことが出来ました。

行事予定

(5月21日～7月20日)
 日高学区市民自治会
 ◎再生资源拠点回収(日曜)
 5月22日 6月26日
 回収時間 8時半～11時
 日高交流センター

◎東連津川をきれいにする会の清掃と草刈り
 5月29日(日)
 東連津川各流域
 ◎日高交流センター草刈り
 6月4日(土)
 日高交流センター全域
 ◎一斉清掃
 6月5日(日) 8時より
 学区内の除草や清掃など
 ◎「ホウ酸団子づくり」教室
 6月7日(火)

◎日高学区総合防災訓練
 6月25日(土)
 日高交流センター広場
 ◎日高文化協会
 ◎書道・絵画展
 5月20日(金)～22日(日)
 日高交流センター

役員会報告

5月13日の役員会で次のことを協議しました。
 *学区内一斉清掃と東連津川をきれいにする会の清掃実施
 *総合防災訓練

各種委員の紹介

日高市民自治会から推薦した日高市委員の皆さんを紹介いたします。

日高市不法投棄監視委員

増子 正一 小本津町 42-8745

志賀 正男 小本津町 42-7170

石井 慎 小本津町 42-3382

黒澤 捷一 小本津町 42-3040

志賀 孝二 小本津町 42-4452

消費生活サポート 原田 千代子 小本津町

土木委員 (日高交流センター)

宇佐美吉郎 小本津町 42-3264

豊田 清明 日高町 42-4560

スポーツ推進委員

小野 猛 日高町 43-7395

志賀 康伸 小本津町 42-1928

◎新任者



◆日高支所 主幹 藤田 真実 (資産税課主幹)



◆日高支所 支所長 根本 誉 (日高支所副参事)



◆日高交流センター 管理人 増子 光男

春の人事異動



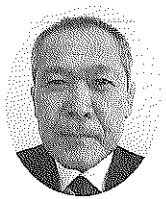
◆日高小学校 教頭 鈴木 京子 (会瀬小)



◆日高中学校 校長 川野邊 和 (山部小)



◆日高中学校 教頭 鈴木 巖 (久米小)



◆北部消防署 署長 瀬谷 政状 (日立消防本部予防課長)

◎転出者・退職者

◆日高交番 所長 石田 祐二 (取手警察署)

◆日高交流センター 管理人 小澤 理香

◆日高支所 支所長 志藤 忠博 (納税課課長)

◆日高小学校 教頭 坪 聡子 (田尻小副校長)

◆日高中学校 校長 藤田 博隆 (学校教育課)

◆北部消防署 署長 小野崎 俊幸 (泉丘中教頭)

◆日高交番 所長 小沼 富 (停年)

ふるさと 郷土 ひたか

民話伝承編(5)

東連津川を上流から下流、海に向って歩くと、JR常磐線の北側には川の西側、下流では両側に田んぼが広がっており、東連津川は昔からこれらの田んぼに水を供給してきたことが分かる。また日高地区の歴史や言い伝えには東連津川にまつわる話も多く、いかにこの川が地域の人々の暮らしと深く関わってきたかも知ることが出来る。

現在でも地域の人々のボランティアによる清掃作業のおかげ等もあり、川の水は澄み川魚たちが元気に泳ぐ姿が見える。

「川干し」

川は子ども達の天国。昔の東連津川には夏ともなれば真黒に日焼けしたちびっこ達が、一日中水遊びに興じている姿があちこちに見られた。



太子堂橋付近の東連津川

文藝ひたか

日高短歌会

今どきの柿の種とはおつまみよ 寺田寅彦のエッセイを読む 石井 正子

夫残し心残りに疎開する若き母子に小雪が寒し 小野 白梅

喜寿といふ未だ見ぬ我が世の初朝よ光の向ふに一歩踏み出づ 小野 勝子

立春の午後の散歩を伸ばしゆく坂を下れば海原ひらく 太田 初枝

華麗なる羽生結弦の四回転連覇ならずも美の技に酔う 尾羽 千恵

「百年時代の過ごし方」介護の映画に老いても心はいつも青春 川井けい子

山も田も変貌なせる故郷の東連津川は今もかわらぬ 久保田絹枝

ひざ抱え痛めしところを冬場には風呂に入りてさする我が身を 小池 久枝

工事して川幅広き十王川岸辺に多数の水鳥集う 清水恵美子

樹の陰の万両の実の小鳥たちの難を逃れてぬくぬく朱し 村尾 君代

明けてゆく街を見守る東の空の明星黙してひかる 鈴木喜美子

クリミアの夜鳴鳥には及ばぬが猛暑に打ちしワクチン三千本 碓 暁子

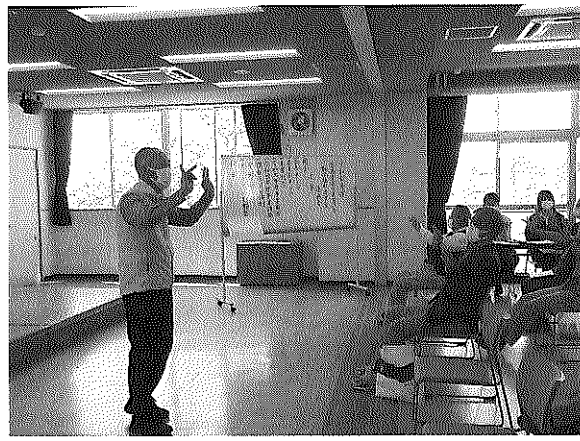
現在のようには広いスペースのプールで泳ぐというものはなかったが、堰上、堰下の深みに飛び込んで、ふなやまべを手つかみするなどして、当時の子ども達にとっては格好の遊び場であった。

東連津川には、堰がざつと十八か所あり、昔は主に水田の灌漑用水や水車を回すための用水として、その水路のいわば水口であった。昔の田植えは今より遅く六月初旬から下旬頃で、出穂は旧盆頃であった。その頃になると水田への水も少量ですむ。旧盆の十五日は、子供たちの待ちに待った川干しの日であった。

各堰の水路を止め、水のひくのを待つ。しばらくすると、あちこちに魚のおどる姿が見えてくる。これを手つかみして取るのである。魚類も豊富で、どじょう・うなぎ・えび・かに・やまべ・ぎんぎよばち・ふな。かにに手をはさまれたり、顔中泥んこにしてうなぎを追いつかむ姿は、そこに一つの世界があるようだ。水路に水溜りがあればバケツでかつぱらう(水を払う)。天神様の近くには、自然所うなぎ(そこに棲みついている太いうなぎ)が稀に取れた。【東連津川風土記から】

ボランティアの皆さんに感謝 今年度もお世話になります

4月22日、日高学区社会福祉委員会の連絡会が開催



ここにクラブの活動発表 指体操で脳の活性化

者支援や子育て支援事業などで委員会を支えるボランティアの35人が参加し、前年度事業報告や今年度事業計画について確認しました。

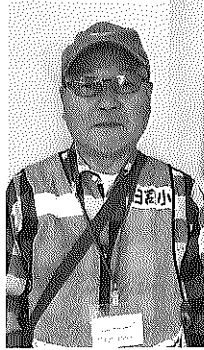
特に、安心ネットワーク部門では今年度の事業として、災害時における日高学区の避難行動要支援者対応マニュアルを策定し、災害時の高齢者や障害のある方の見守り体制を確立していきます。福祉総務部、ふれあい事業部、ボランティア

されました。社会福祉委員会の委員や見守り支援事業の支部福祉協力員、高齢

あの人 この人

子どもの安全を願い、共に歩く

小木津町2丁目 志賀雅昭さん(75)



志賀雅昭さんが日高小学校防犯サポーターのボランティア活動を始めて6年になります。防犯サポーターとは、小学生の登下校時に付き添い歩く、ユニフォームの緑色のベストを着て見守りをするボランティアです。西町支部の東連津川太子堂橋近くに住む志賀さんに防犯サポーターを始めた動

機を伺うと、「可愛い孫が小学校に入学したとき、通学時の不慮の事故が心配で付き添って歩いた。爺バカと言われてもそれが動機かな」と照れながら話してくれました。今、付き添い歩きは新1年生の下校時のみになり、児童たちを学校まで迎えに行き、自宅近くまで送るそうです。朝は交流センター

推進部では、新型コロナウイルス感染症の情勢を考慮しながら、高齢者等支援や子育て支援事業を進めていく予定です。また、日高の広報紙や交流センターだよりなどが全戸に配布されるようになり、地域の情報が伝わりやすくなったことを活用し、福祉事業の情報を発信していくことを確認し

ふれあいの場

おもちゃライブラリー

日高学区市民自治会社会福祉委員会では、毎月第1・第3水曜日の10時から、未就学児とその保護者を対象に、無料で子育て支援のおもちゃライブラリーを開催しています。

「自分の孫だけではなく、子どもたちは地域の宝だ。歩きながら交通ルール、やっつて良いこと、悪いことなど生活のルールを話します。子どもたちが安心・安全に暮らすことが出来るように、都合のつく限り活動を続けたい」と言っていました。志賀さんは活動時消毒液、傷テープを持ち歩いています。小学生は突飛な行動をし、擦り傷などをした時の応急措置のためです。ご苦労様です。宜しくお願ひします。(木田源一)

活動状況発表では、ボランティアスタッフ110人が優しさと思いやりの心で地域の福祉活動に携わり、何より労を惜しまず支援活動を笑顔で楽しんでいる様子が伝わってきました。今年度も楽しく、より良い福祉活動が出来ますようご協力をお願いします。

開場前にはボランティア8名で、おもちゃ一つ一つを除菌し、子どもたちが安心して遊べるよう準備を済ませ親子を迎え入れています。



楽しく遊びました

4月20日の日高交流センター2階1号室は、満開の桜と同じくらい賑やかさと明るい笑顔でいっぱいになりました。5組の参加者は、乗物、ままごと、ボール、お絵かき、ブロック、トンネルなどで遊び、歩行器を利用した子もいました。この日は、日立市社会福祉協議会から保育士の来訪

東連津

ふれあい部副部長 佐藤 弘光

私は小木津生まれ、小木津育ちの今年58歳で、日高学区市民自治会ふれあい部に所属している。ここ数年、コロナ禍でふれあいイベントができていないが、以前はイベント後の反省会、懇親会(自分の意識では飲み会)に積極的に参加してた。お酒が嫌いな方ではないので……

蘇える懐かしい記憶

懇親会の中で、ここ交流センターは旧日高小学校跡のことや、小学校が建替えられた時、机や椅子を運んだ話を聞いた。私も旧校舎があった頃、学校前の駄菓子屋で模型飛行機を買って飛ばし、横内のため池で釣りをしていた遊んだりした懐かしい思い出が蘇る。コロナ禍が終息し、盛大にふれあいイベントが開催でき、反省会・懇親会の中で諸先輩方と懐かしい思い出話を交わしたい。

車椅子を貸します

日高学区市民自治会社会福祉委員会では、無料で車椅子の貸し出し事業を行っています。貸出期間は、原則2週間までです。通院や旅行など様々なシーンで、一時的に使用したい時など、ご利用ください。

お問い合わせは、日高交流センター内、社会福祉委員会までお願いします。☎(43) 1250

会員募集

《アップ》

エアロビクス教室です。思い切り身体を動かし、いい汗かいてみませんか。

- 毎週金曜日
- AM10:00~11:30
- 会費 月2,000円
- 場所 日高交流センター
- 申込先 和田42-3455

編集後記

コロナ禍の影響で通常の開催ができなかった日高市民自治会総会が、3年ぶりに形を変えて開催された。また、その間の行事の多くも中止を余儀なくされた。今年度こそは、各支部の選出された新役員を中心に秋のスポレク祭の代替え事業が盛大に開催できるようにコロナ禍の終息にむかつて対応したい。(菊地)